

保 存 活 用 計 画 書

景観資産の名称	日本の原風景・南丹市美山かやぶき集落群
申 請 者	美山町知井振興会

代表写真



1 位置及び範囲

【位置】



【登録範囲と範囲設定の考え方】

一団に見渡せるかやぶき集落を主な対象場とし、集落と田園、由良川の流れを中心に、取り巻く山々の稜線をたどる区域を登録範囲とします。



2 自然、歴史、文化等からみた特性

景観資産の魅力

- ・ 由良川の源流域にあり清らかな美山川の流れ、緑濃き山々の連なり、先人が拓き代々守られてきた田園、人々が暮らすかやぶき民家のある里。南区と北区のかやぶき集落群ののどかなたたずまいは日本の原風景を思わせ、訪れる人々の心を癒すものであり、自然と共存してきた農家の暮らしが見える素朴な農村風景として、後世に残したい貴重な地域景観資源です。

自然的特性

- ・ 春はこぶしの白い花、梅雨のころには光る紫陽花、夏には清流のせせらぎの音、秋には田畑の実り、凜とした空気に包まれる冬には里を覆う雪景色。豊かであり厳しくもある自然の中に人々の暮らしが息づくかやぶきの集落は、四季それぞれに異なる趣きを備えて見る人を飽きさせず、日本人の心を温かく包み込むように受け入れてくれます。

歴史・文化的特性

- ・ 京都府のほぼ中央に位置する南丹市のなかで、北東部を占める美山町に南集落・北集落があります。両集落に沿う道は、古来、若狭と京の都を結んだ「鯖街道」の一つとしても知られ、独自の生活文化を築いてきた地域です。
- ・ 南丹市美山町に残存するかやぶき民家数は200棟を超え、このうち北集落に33棟、南集落に5棟と当該地域に残るかやぶき民家数は群を抜いている状況です。現存のかやぶき民家は、主として江戸時代中期以降の建築であり、丹波地方東部に分布するといわれる「北山型」の特質を有し、価値ある文化遺産としての評価を受けています。

周辺環境との関係

- ・ 南・北集落のある知井地区は、ブナ等の天然林をはじめ貴重な動植物の宝庫ともいわれる「芦生の森」を擁する地区です。芦生の広大な原生林は、由良川の最初の1滴が生まれるところでもあり、その流れが美しいままに下流域に注ぐように、森を守り、水を守る地域住民の意識は高いものがあります。
- ・ 616km²の広大な南丹市では、中心市街地の都会的な利便性を高める地域と、水源涵養の重要な役割を果たす山林と農山村の地域の両方の特徴を合わせ持つ市として、その特性を内外にアピールしています。その中であって、当地区における農山村の原風景を貴重な地域資源として一層磨き、市全体の価値を高めていきたい考えです。

3 景観の保存、育成及び創造に関する事項

法律や条例などによる景観上の規制誘導事項

- ・ 北集落については、平成5年、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。集落をとり囲む山林から府道38号に沿った127.5haのエリアで、民家や社寺等の建築物、露地門等の工作物、点在する石垣や地蔵等の環境物件が地区内の伝統的建造物として位置づけられています。

景観づくりの目標像

- ・ 合併前の旧美山町においては、「かやぶきのまち・美山」のイメージで全国にも名を馳せる地域づくりをめざしてきました。今後は、合併によって一層広範な面積を有するに至った新市「南丹市」において、地域の今後の取組みを通じ、「かやぶき民家のふるさと」の景観地域を36,000人市民共通の財産として捉えていただけるような全体の意識の高まりをめざしていきたい。

景観づくりの取組

[現状]

- ・ 受け継がれてきた豊かな自然景観や伝統的建造物群保存地区の指定によって、住民の景観・環境保全に対する意識はたいへん高く、住民自ら様々な活動を展開しています。
 - ・ 地域住民による景観保全としての植栽活動（南あじさいロードへの補植）
 - ・ 昔の里山を復活させ、豊かな自然景観を取り戻すための活動
（昔の里山づくりとしての植栽・北散策道の整備）
 - ・ 景観・環境保全学習会の開催（北集落景観保全学習会）
 - ・ かやぶき民家の屋根の葺き替えに必要な「かや」場の保存活動を実施
 - ・ かやぶき民家群内における外灯の付け替え
（集落内前箇所、一般的な外灯からレトロ調の外灯への付け替え）

[課題]

- ・ 豊かな自然景観を求めて年間30万人を超える来訪者があるが、一方では道路や河川へのゴミの不法投棄も年々増加するようになっていきます。
- ・ 由良川の最上流域として、水質浄化の取り組みや水環境に対する住民へのさらなる意識高揚を求めていく必要がある。

[解決のためのアイデアや方針]

住民によるパトロール活動の実施とゴミ持ち帰り運動

- ・ 毎年実施している景観・環境学習会を今後更に発展させ、住民らによる景観・環境パトロールを定期的実施することと、ゴミ持ち帰り運動の展開を図っていきたい。

水源地としての水質保全活動

- ・ 「澄みきった清流」と「日本の原風景」が残る町として脚光をあびている美山町にとって、芦生原生林からの清らかな流れを守っていくことは水源地に暮らす我々にとって大きな役目です。今後は、合成洗剤を使用しない・汚水を流さない運動を検討し、水質保全に対する住民の意識高揚を図っていききたいと思います。

4 景観を活かしたまちづくりへの展開に関する事項

景観を活かしたまちづくり活動

[現状]

- ・かやぶき雪灯廊（毎年2月 第1土曜日開催）

雪深い美山ならではの冬の景観を生かした幻想的なイベント。地域住民と都市住民らが一緒になって小さな雪のかまくら（雪の灯籠）を作り、夕方から一斉にろうそくに火を灯します。雪化粧した茅葺民家のまわりには約1,000個の灯籠が並び、当日は、朝から数百人のカメラマンが来られるほどの人気のイベントです。



- ・かやぶき放水銃の一斉点検（毎年5月11月 年2回実施）

北かやぶき集落では、平成14年にかやぶき民家を火災の類焼から守るため、集落内に62基の「かやぶき放水銃」を設置しました。毎年、年2回（春と秋）に点検のために放水テストを行なっています。最近では、放水の瞬間を撮るために全国からたくさんのカメラ愛好家や観光客が訪れる一大イベントとなっています。日本全国どこを探しても見つからない、まさに自然景観が織り成す最高の映像です。



- ・坂田明かやぶきコンサート

平成19年11月7日に、世界的なジャズミュージシャンの坂田明（サクソ）パカボン鈴木（ベース）、黒田京子（ピアノ）の3人を迎え、ジャズコンサートを開催した。このコンサートは、豊かな自然景観を将来にわたって守っていかうという意味を込めての活動で、世界遺産にも登録されている島根県の石見銀山をスタートして、次に舞鶴の赤レンガ博物館、最終が美山かやぶきの里として実施したもの。



[課題]

- ・豊かな景観を活かした観光産業による町づくりの取り組みが行なわれているが、気候的な条件を考えると、どうしても冬場は積雪により、集客が少なく大きな課題である。
- ・少子高齢化が今後益々進んでいくと、集落区民だけで景観を維持していくことが困難になる恐れがある。また後継者不足による田畑の荒廃（耕作放棄地）は緊急の課題である。

[景観を活かしたまちづくり活動のアイデアや方針]

景観（冬景色）を活かした冬場の集客確保

- ・ 現在、冬場の集客確保のための取り組みとして地域をあげて取り組んでいるかやぶき雪灯廊では、ライトアップ中の1週間で計1,500人を超える観光客が訪れるものの、それ以外の日は観光客も少ない。美山の雪景色を活かした魅力あるまちづくりの取り組みが必要であり、報道関係やインターネットを通じた更なるPR活動や、宿泊客の確保に向けた新たなアイデア（スタンプラリー・冬場の特典など）を企画し、展開します。

少子高齢化による景観荒廃への対応策

- ・ 今後、農地景観保全をすすめる上で、課題となる農地問題や後継者対策について考えるプロジェクトチームを地域で立ち上げ、農家・非農家共に議論し、田舎の原風景ともいえる田園風景の保全活動をすすめていく必要があります。地元集落、地域振興会、また美山まちづくり委員会など、地域の連携を図りつつ進めていきたいと考えます。

5 その他必要な事項

- ・ 特になし

参考資料

提案団体の概要

組織名称

- ・美山町知井振興会

設立日、主たる事務所等の所在地、会員数

- ・平成13年4月設立（認可）
- ・南丹市美山町中上前83番地
- ・308戸（平成19年5月現在）

設立目的

- ・住民の主体的な参加による住民自治確立のため、行政と地域住民が連携し、地域活性化をめざした取り組みをはじめとする生涯学習の推進、地域福祉の推進、地域産業の振興など、住民による住民のための地域づくりを推進することを目的としています。

主な実施事業

- ・美しい里づくり・女性参画・定住促進・農業振興をテーマにしたプロジェクト推進
- ・地域の景観づくり事業（里山づくり、もみじの植樹など）
- ・都市との交流事業（雪灯廊、鮎まつり、楽農まつりなどを実行委員会制で実施）
- ・地域特産振興事業（手づくり加工品等の開発や振興を図る）
- ・知井地区文化の集い
- ・各種スポーツ大会
- ・各種学習会（人権、環境などのテーマ）

景観資産の登録範囲における貴団体の活動対象範囲

- ・知井振興会企画総務部、知井女性プロジェクト、集落の連携

景観資産の登録範囲における貴団体の活動内容

- ・美しい知井の里づくりプロジェクトとして、南集落・北集落でも里山づくり事業を展開している。
- ・北集落では、昨年度里山づくり事業を終え、整備したバッファゾーンに昔ながらの里山にある栢、栃、紅葉、檜、山桜、朴の木などの植樹を行った。また、散策道の整備によって、地元住民はもちろん来訪者にも里山の美しい景観に親しんでもらえる空間づくりを行っている。
- ・南集落では、集落景観の大きな特徴であるアジサイロードを一層充実するため、追加の植樹を行ったところで、来訪者の心を和ますふるさとの美しい景観づくりに区民をあげて取り組んでいる。また、本年度は里山づくり事業を実施し、今後は、有害鳥獣防護ネットの設置や植樹を行うなど、後地の整備と活用に取り組む計画である。

登録範囲における景観に関する規制誘導事項のまとめ

都市計画関連

- ・都市計画区域外

農林水産関連

- ・農振法に基づく農用地区域

その他

- ・文化財保護法による重要伝統的建造物群保存地区（北集落のみ）